

# 電力系統技術委員会の活動

1996年より設置された電力系統技術委員会は、システム工学的な見地から新しい系統現象の解明を推進し、最新のシステム理論を適用することで、電力の経済的かつ安定な供給に役立つ技術を、系統的に調査・研究・教育を行っています。

## 電力系統技術委員会【PSE : Power Systems Engineering】

委員長：北條 昌秀（徳島大学）

### 電力系統工学に関する系統的な調査・研究活動を実施

活動対象：系統や現象の解析、系統シミュレーション技術、  
系統の計画・運用・監視・制御及び技術、その他関連する技術

電力安定供給を支える電力 流通設備計画・運用技術 調査専門委員会	給電用語 調査専門委員会	電力系統の監視制御自動化 に貢献するAI技術動向 調査専門委員会	系統運用者の教育・ 訓練体系 調査専門委員会
R2/5月～R6/4月 （～R6/10月 整理委員会） 委員長：餘利野直人（広島大学）	R4/7月～R6/6月 委員長：児山 篤紘 （関西電力送配電）	R6/4月～R8/3月 委員長：福山 良和（明治大学）	R6/7月～R8/6月 委員長：宮崎 裕一 （東北電力NW）

調査対象：

太陽光発電や風力発電の普及が加速され、現在もなお、その普及が進んでいる。あわせて、間接オーケションなど連系線利用に関する制度の見直しや全面自由化などに伴い、電力流通設備の計画および運用業務に必要な検討項目や実施内容が変化している。

電力流通設備の計画・運用技術に係わる課題およびその取り組み状況について調査を実施する。

調査対象：

給電運用業務を取り巻く環境は大きく変化し、考慮すべき事項も変化してきている。

給電運用システムの機能の充実や電力取引市場の開設、再エネ普及等により生まれた新たな用語について、海外機関の用語集も参考し、調査を実施する。

調査対象：

電力系統を取り巻く環境が激変する中で電力の安定供給を維持するためには、事故復旧や調相機器の投入等、これまで人間の判断を必要としてきた複雑な電力系統操作も含めた自動化に向けた技術開発を進める必要がある。

電力系統監視制御へのAI技術の適用拡大を念頭に置き、電力系統監視制御のAI応用に関する学術界および産業界の開発動向や技術調査を実施する。

調査対象：

系統運用業務を取り巻く環境は大きく変化し、人材育成の必要性が大きくなっている。

一般送配電事業者各社が系統運用者に対して行う知識教育や技能訓練の体系およびその具体的実施方法などを始め、訓練用シミュレータの設置状況やその機能などについて、他部門・他業界の状況も含めて広く調査を実施する。

### 令和6年度の研究会予定

開催年月	開催地	テーマ	主催技術委員会
R6/9/19～20	東北大学	①電力技術・ 電力系統技術一般 ②分散電源・ 次世代グリッド・ レジリエンス	電力技術/電力系統技術/合同
R6/12	未定	未定	電力系統技術(社会学系学会コラボ)
R7/1	未定	未定	電力系統技術
R7/3	未定	未定	電力技術/電力系統技術/半導体電力変換/合同

電力系統技術委員会に関する問合せ先

電力系統技術委員会 幹事補佐 古館 優  
メールアドレス : Yu.furudate@tepco.co.jp

所属：東京電力パワーグリッド(株) 系統運用部 給電計画G